

粕壁地区公民館・粕壁南公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の視点から、地域における学習意欲を醸成するため、各世代を対象とした学習機会の提供を行い、豊かな人間性を養い、もってより良い地域づくりを進める。

粕
壁

◇重点施策

- 1 各層、各期の学習ニーズを取り上げ、それに対応する事業を実施するとともに参加者の自主的な活動を推進する。
- 2 人々の集うスポーツ大会を実施し、地域の連帯感と親睦を深める。
- 3 幼児期において、家庭の教育力の活性化を促す事業を推進する。
- 4 青少年の健全育成のための事業を推進する。

◇重点事業

- 1 「かすかべ茶屋」
- 2 粕壁地区体育祭
- 3 粕壁市民センターまつり



粕壁南公民館

粕壁地区公民館

所在地 〒344-0061 春日部市粕壁6918番地1（粕壁市民センター内）

TEL 048-752-3080 FAX 048-754-0158

E-mail chuokou@city.kasukabe.lg.jp

粕壁南公民館

所在地 〒344-0064 春日部市南一丁目12番23号

TEL・FAX 048-738-0088

E-mail kasunankou@city.kasukabe.lg.jp

職員	館長（兼務）	角田 尚之	主査（兼務）	海老原 博
	主査（兼務）	大澤 恵太	主任（兼務）	城田 徹
		（社会教育主事）		
	主任（兼務）	岩本 一	主任（兼務）	梅田 淳也
		（社会教育主事）		
	主任（兼務）	高島 美香	フルタイム（兼務）	落合 珠美
		（社会教育主事）		
	フルタイム（兼務）	白須 紀美子	フルタイム（兼務）	馬渡 郁江
	フルタイム（兼務）	原 昌美		

事業名 テーマ	こども体験教室 「乗り物の不思議を見に行こう！」		対象	小学生とその保護者	定員	20組		
ねらい	おもに小学生を対象に、伝統文化・芸術・環境・科学等の体験を通して、自ら探求し生きる力を養う。							
協力機関 及び団体	学校法人佐藤栄学園 埼玉自動車大学校・鉄道博物館		特色 位置づけ	中央公民館「科学館巡回展」関連事業	SDGs の目標No	4.11		
会場	埼玉自動車大学校・鉄道博物館		教材 資料等	施設パンフレット				
実施までの経過	4月 5月16日(金) 6月1日(日) 6月27日(金) 8月23日(土)	会場予約 下見 公民館だより6月号掲載 ポスター・チラシ配架 申込み開始 実施	PR方法	公民館だより「桐のまち」6月号 チラシ配布（八木崎小・粕壁小・緑小・上沖小）ポスター掲示				
			受付方法	6/27(金)～直接または電話で中央公民館へ申込み 参加費（入館料）当日徴収				
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名		
回数	総時間数			男	女		合計	
8月23日(土)	9：30～14：30	埼玉自動車大学校見学 エンジンなどの解説 スポーツカー乗車体験 鉄道博物館見学  	見学		12	4	16	
1回	5時間			12	4	16		
企画運営 上の工夫	・家族で参加できるように土曜日に実施する ・体験に重きを置き、実習を取り入れる ・保護者とともに体験するプログラムを組む							
成果 参加者の声など	車や電車の仕組みを「見て・触って」学習することにより、より深く理解し興味関心を満足させる内容となった。また、今回は、父親の参加が多かった点も特徴的であった。共通の関心に基づき、交流が深まったことと察せられる。 「くるまのがっこうがたのしかった」「大人にならないと出来ないことが体験できたのでよかったです。」 「自動車大学では普段できない貴重な体験をさせていただくことができました。」「学生さんとのふれあいもスポーツカー乗車体験も親子共々楽しかったです。」「車も鉄道もすごく楽しめました。」との感想が寄せられた。							
課題と展望	募集20組に対して、6組16人の参加に留まった。今回は現地集合だったため参加しづらい面があったと推察する。市の公用バスを利用するなど、より多くの方が参加しやすい工夫を考えたい。 また、伝統文化・芸術・環境・科学等の体験を施設訪問だけでなく、もの作りや鑑賞などまんべんなく経験できるように配慮したい。 こどもの健やかな成長には、多くの体験が必要であるが、環境や遊びの変化により様々な体験の機会が減少している。昨今では、家庭環境の違いによるこどもの体験格差も問題視されており、公民館では、こどもたちになるべく多くの体験の場を提供できるように企画していきたい。							

事業名 テーマ	こども体験教室(料理) 「混ぜてぎゅっ！おからで出来る簡単 手作り味噌」		対 象	小学生		定員	12名	
ね ら い	自らの食について考える習慣や、食に関する様々な知識と食を選択する判断力 を楽しく身につける。 共同作業を通じて協力しあうことの大切さを学ぶ。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4.11	
会 場	中央公民館 実習室		教 材 資料等	レシピ 材料は参加費で調達（講師が用意）				
実施ま での経 過	8月下旬 10月29日(水) 12月1日(月) 12月5日(金) 12月20日(土)	講師折衝 講師依頼 公民館だより発行 地区内小学校ポスター 掲示依頼 受付開始	P R 方法	公民館だより12月号掲載、地 区内小学校へポスター掲示				
			受付方法	12月20日（土）午前9時から、参 加費（500円）を添えて中央公民 館へ申し込む。				
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
1月24日(土)	10:00～12:00	料理 「混ぜてぎゅっ！ おからで出来る簡単 手作り味噌」	実習	4	8	12	ばばちゃんめし 辻 圭子 	
1回	2時間			4	8	12		
企画運営 上の工夫	手作りの良さ・楽しさを感じてもらう。身近な 食材と簡単な工程でできるメニューの為、自分 で作れることに気づきを与える。季節に合った メニューを作り家庭でもすぐ実践できるよう工 夫した。 高学年が低学年を導くように、学年の偏りなく グループ分けをおこなう。							
成 果 参加者の 声など	参加者からは、「おからみそを作って楽しかったです。次回もまた、料理教室 があればさんかしたいです。ありがとうございました。」、「わかりやすく、 みそを作れたのでうれしいです。このみそで いろいろなものをつくってみたいです。ここで 習ったみその作り方を家で活かしたいです。」、 「つくりかたがよくわかって楽しかったです！」 などの感想が寄せられ、アンケート結果は大満足 と満足のみで、非常に満足度の高い講座となった。							
課題と展望	・料理体験は人気の事業であり、食育の観点からも継続していきたい。 ・体験したことを家庭でも実践できる内容のものを計画していきたい。 ・こどもたちに手作りの良さや楽しさを体験してもらい、家庭でも実践できる 内容のものを計画したい。 ・地域で活動する人材やサークル団体で講師を依頼し、地域コミュニティの拡大を図りたい。							

事業名 テーマ	春日部市市制施行20周年記念 令和7年度市民体育祭 第71回粕壁地区体育祭		対象	地区住民	定員	なし
ねらい	・「スポーツの日」を中心に、各地で体育祭を開催し、市民のスポーツ・レクリエーション活動への意識の高揚を図る。 ・地域の実情を踏まえ、誰でも気軽に参加できるように内容を工夫し、地域住民の健康増進と健全な地域の発展を図る。					
協力機関 及び団体	粕壁地区自治会連合会（主催） 粕壁地区体育祭実行委員会（主管）		特色		SDGsの 目標No	4・11
会場	春日部中学校 校庭		教材 資料等	プログラム・競技台本		
実施までの経過	5/18(日) 5/31(土) 6/22(日) 7/19(土) 8/1(金) 8/29(金) 9/7(日) 10/4(土) 10/5(日) 10/18(土)	春日部市民体育祭実行委員会 関係者打ち合わせ 代表者会議 責任者会議 公民館だより（8月号）発行 プログラムの全戸配布 実行委員会 前日準備 体育祭当日 反省会	PR 方法	公民館だより（8月号）掲載 プログラムの地区内全戸配布		
			受付 方法	地区対抗種目・団体対抗種目については、事前に各地区・団体で取りまとめる。自由参加種目については、当日の受付。		
月日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者	講師・助言者の職名	
回 数	総時間数			合計	氏 名	
10月5日（日）	9：00～16：00	9:00 開会式 9:30 競技開始 15:00 閉会式 15:30 抽選会 16:00 終了	競技	2,080人		
1回	7時間					
企画 運営上の 工夫	大会運営を円滑に行うために、競技役員等にスポーツ推進委員やいきいきクラブ連絡協議会を事務局選出による役員として依頼する。地区対抗種目については、競技種目解説書及び競技受付用紙を作成して事前に配付することにより、より円滑に競技が進められるようにする。					
成果 参加者の 声など	・小学生の玉入れは、ほほえましくてよかった。 ・3連休じゃない時の開催は、もう少し種目を減らし、早めに終わらせるほうが、皆さんに負担がない。 ・用具の人の手際よい動きのおかげで競技がとてもスムーズに進みました。競技説明もしてくれていて、助かりました。 ・今回新たに春日部市民生委員児童委員協議会の粕壁3地区の方に競技役員をお引き受けいただいた。					
課題と展望	・今年度は市制施行20周年記念大会として、競技終了後に抽選会を実施した。閉会式終了前に参加者が帰ってしまうことも少なく、最後まで大勢の方に残っていただけた。 ・昨年度より1自治会、参加者数で約120人参加が少なくなっており、また、参加自治会の年齢構成も高齢者が多くなっていることから、地区選出の競技役員の人数の充足が難しくなっている。地区内の中学校・高校の生徒に運営ボランティアを依頼するなど、外部団体への協力の必要性が高まっている。					

事業名 テーマ	第50回 粕壁地区壮年ソフトボール大会		対 象	45歳以上		定員	なし
ね ら い	壮年の健康増進と親睦を深めることをめざす。						
協力機関 及び団体 (予定)	主管：JMソフトボールクラブ		特 色	壮年（満45歳以上 男女）対象		SDGsの 目標No	4・11
会 場	大沼野球場		教 材 資料等	代表者会議資料、プログラム			
実施ま での 経 過	9月11日(木) 主管団体と打合せ 9月26日(金) 前年度参加チームに 申込案内発送 10月9日(木) 大增中学校へ校庭借用 の依頼 10月15日(水) 申込締切 10月17日(金) 事前打合せ 10月18日(土) 代表者会議 組合せ抽選		PR方法	公民館だより10月号 前年度参加チームあて案内			
			受付方法	中央公民館で直接の申込みを受 け付ける。 代表者会議までに参加費を預か り、預り証を渡す。			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者		合計	
回 数	総時間数			男	女		
		合計	合計				
11月2日(日)	8:00～13:30 (7回70分制)	トーナメント 大沼野球場で計3試合 (1チームはシード) トーナメント 上位4チームによる計3試合 	競技	135		135	
11月16日(日)	9:00～13:30 (7回70分制)		競技	95		95	
2回	10時間			230	0	230	
企 画 運営上 の 夫	・参加チームの募集にあたって、公民館だよりへの募集記事の掲載の他、前年度参加 チームへ案内をするとともに、関係者へ開催の周知を依頼した。 ・JMソフトボールクラブとの連携を密にし、事前打ち合わせや当日の用具手配の協力 依頼などを円滑に進めることができた。						
成 果 参加者の 声など	・試合を通じて、参加チーム相互の親睦が深められた。 ・天候不良により、第2日目は開催できず延期となったが、翌週に開催し全日程を終了 することができた。 ・会場(グラウンド面)用具については、主管団体が所有する用具を借用できたことで、 準備を的確かつ円滑に行うことができた。						
課題と展望	令和6年度大会での、ホームランボールによる家屋の外壁破損事故により、今年度から 大增中学校の校庭を借用できることとなった。しかしながら、前年度10チームと比べ参 加チームが7チームと減少し、実施会場は大沼野球場のみとなった。今年度、節目の 第50回記念大会を経て、来年度以降も、歴史ある本大会をさらに盛り上げるよう参加 チームを増やしていきたい。						

事業名 テーマ	令和7年度 粕壁市民センターまつり		対 象	一般（出演・出品は中央公民館及び粕壁南公民館利用団体）		定員	なし	
ね ら い	中央公民館及び粕壁南公民館利用団体の学習成果発表の場を提供するとともに、地域住民及び利用団体の相互交流の機会を設け、文化意識を醸成し市民主体の公民館活動を一層推進する。							
協力機関 及び団体	春日部市民劇団 かざぐるま P Aサークル プラグド		特 色 位置づけ	実行委員会 形式	SDGsの目 標No	4・11		
会 場	粕壁市民センター		教 材 資料等	プログラム				
実施までの の 経 過	9月 10月1日（水）	実施内容・要項検討 公民館だより10月号 （参加団体募集記事掲載） 参加申込書配布開始 第1回 実行委員会 公民館だより12月号 （開催周知記事掲載） 第2回実行委員会 1月2週間程度 ステージ部門リハーサル	P R 方法	公民館だより10・12月号 パンフレット及びポスター				
	10月8日（水） 11月29日（土） 12月1日（月） 12月20日（土） 1月2週間程度		受付方法	【参加団体】 参加申込受付 10月8日（水）～11月7日（金） 【来場者】 直接来館				
月 日（曜）	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 合計	女 合計	合計		
1月30日（金）	10:00～16:30	展示部門 1/30～2/1開催	展示 発表	32	46	78	実行委員長:松村 栄 造（ステージ部門） 副委員長:後藤 勝雄 （展示部門） 出演団体35団体	
1月31日（土）	10:00～16:00			167	270	437		
2月1日（日）	10:00～17:00	ステージ部門1/31・2/1開催		125	311	436		
実施 3 回（日）	19時間30分			324	627	951		
企画運営 上の工夫	昨年度に引き続き実行委員会形式で実施する。参加団体からの選出人数については昨年度「4名」としていたところだが、今回は「3名」の実行委員を選出してもらう。実行委員には、各部門の運営及び駐車場係等の係に就いてもらう。特にステージ部門は2日間開催とするが、時間割り振りを行い、超過する場合は抽選を行う。なお、ステージ部門での舞台・音響・照明等の各係を担当することについては、昨年度協力団体からの要望もあり廃止とし、協力団体に全面的に運営を任せる。 模擬店については、調理室の関係から1日1団体とし、体験部門も食べ物関係の体験は1日1団体とする（模擬店と体験が被った場合は、話し合いまたは抽選）。							
成 果 参 加 者 の 声 など	今回が2回目の開催であり、3日間（ステージ部門は2日間）の開催とした。1日追加したことにより、特にステージ部門は希望団体全てが参加することができた。また、地域づくり推進事業の一環として、31日に講堂で「粕壁地区交通安全講習会」を実施し、ギャラリーでは3日間八木崎小・緑小・緑中の児童生徒の美術作品の展示を行った。							
課題と展望	31日のステージ部門で発表開始時間が15分程度最初から押してしまい、そのことについての苦情が多かった。また今回は体験部門及び模擬店への利用団体の応募がなく、講堂及びギャラリーの外では文化祭の雰囲気がなく寂しいとの意見もあった。一方色々な工芸作品や普段見ることのできない演奏や踊りが見られて楽しかったという来場者の声も多かったが、会期を通して来場者は少なかった。今回寄せられた意見を分析し、今後は「粕壁地区」の文化祭を実施するという意識を念頭に置き、より幅広いジャンルでの団体の参加を促し、集客を図る企画をしていく必要がある。							

事業名 テーマ	ジュニア囲碁スクール	対象	小学生	定員	10名		
ねらい	囲碁を通じこどもの人格形成、年代を超えたコミュニケーションを目的とする。						
協力機関 及び団体	春日部ジュニア囲碁普及会	特色 位置づけ	下記、企画運営 上の工夫 参照	SDGs の目 標No	4.11		
会場	粕壁南公民館会議室	教材 資料等	ジュニア囲碁スクールテキスト				
実施までの 経過	12月中旬 講師打診、会場確保 1月中旬 講師依頼 2月1日(土)公民館だより2月号発行 2月8日(土)子育て情報メール配信 2月15日(土)参加申込み受付開始 4月19日(土)第1回実施	PR方法	公民館だより2月号掲載 子育て情報メール配信				
		受付方法	申込書に必要事項を記入し、直接 公民館窓口へ申込み				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
4月19日(土)	10:30～12:00		実技 講義	2	0	2	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
5月17日(土)	10:30～12:00			2	1	3	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
6月21日(土)	10:30～12:00			2	0	2	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
7月19日(土)	10:30～12:00			1	1	2	春日部ジュニア囲碁普及会 4名
8月16日(土)	10:30～12:00			1	0	1	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
9月20日(土)	10:30～12:00			0	2	2	春日部ジュニア囲碁普及会 2名
10月18日(土)	10:30～12:00			0	0	0	
11月15日(土)	10:30～12:00			1	0	1	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
12月20日(土)	10:30～12:00			1	1	2	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
1月17日(土)	10:30～12:00			1	2	3	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
2月21日(土)	10:30～12:00			1	1	2	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
3月21日(土)	10:30～12:00			1	0	1	春日部ジュニア囲碁普及会 3名
12回	18時間			13	8	21	
企画運営上 の工夫	囲碁を通じてこどもの人格形成と年代を超えたコミュニケーションをより深める。 市内でジュニア囲碁教室を開催している春日部ジュニア囲碁普及会へ協力依頼し、事業内容の充実に努める。公民館だより、SNSなどで市民に周知し参加者を募る。						
成果 参加者の 声 など	参加児童も熱心に受講していた。講師とマンツーマンで受講できる回が多く、細かな指導を受けられていた。また途中の回で行った参加者アンケートでも、「月2回にしてください」、「分かりやすい指導をありがとうございます」など、継続希望の意見ばかりであった。						
課題と展望	昨年度に比べ今年度は参加者が減少しており、中途参加も少なかった。公民館だよりだけでなく、メール配信も行っているが反応は少ない。講師の人数が少ないため定員も少なくならざるを得ないが、効果的に周知を図ることが必要となる。						

事業名 テーマ	サークル体験月間		対象	一般	定員	それぞれの サークルによる																																		
ねらい	粕壁南公民館のサークル活動の促進と利用の活性化を目指す																																							
協力機関 及び団体	事業に参加希望のサークル		特色 位置づけ	サークルとの連携		SDGsの 目標No.	4.11																																	
会場	粕壁南公民館		教材 資料等	教材はサークルで準備																																				
実施までの経過	8月1日(金)公民館だより8月号で告知 8月2日(土)サークル申込み開始 9月16日(火)サークル申込み終了 10月1日(水)公民館だより10月号に 参加サークル一覧を掲載		PR方法	公民館だより8月号・10月号 ポスター・チラシ																																				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ																																				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名																																	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計																																		
10月28日(火) ～ 11月30日(日)		サークル体験報告書(10/28～11/30粕壁南公分)																																						
		サ ク ル 名	活動内容	10/28	10/29	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	計		
		オペラ303	発声・歌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		コーロ藤の会	合唱・コーラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		イロ・イリス	合唱・コーラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		コーロ・タイム	合唱・コーラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ふじコーラス	合唱・コーラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		内省歌声クラブひまわり	合唱・コーラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		みどりの会	合唱・コーラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		混声合唱団 ーロ・ナツメレ	合唱・コーラス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		フルートアンサンブル・フェニックス	フルートアンサンブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		民謡クラブ	民謡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		バイナブル25	ウクレレ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ハルリナ	オカリナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		ギターリークルグラダ	ギター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		春日部邦楽同好会	箏・三味線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		華道・音楽会	華道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		英会話クラブ	英会話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		粕壁PCクラブ	パソコン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		遊美会	絵画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		未来大学健康促進会	麻雀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		15期囲碁	囲碁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		Happy around life	ダンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		リークル部会には不参加																																						
		ほっこりヨガ	呼吸法・体ほぐし・ヨガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		リラクソヨガ	ヨガ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		下地区 粕民謡	民謡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		春日部ハイキングクラブ	ハイキングの説明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		白鶴術さんぽ会	白鶴術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		太極拳教室 柳拳会	ストレッチ・太極拳入門	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		気功太極拳曜クラブ	気功・太極拳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		車いすダンスム 柳の会	車いすダンス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成果 参加者の 声など	参加したサークルは28団体となり、体験参加者数はのべ55人であった。入会人数は28人と一定の成果があった。体験月間を迎える前からサークルへの加入希望者がいたこともあり、新たな活動を希望する地域住民にとって、気軽に体験できる機会となっていることが伺える。一方で、周知方法の再検討に関する要望もあった。サークルからは「会員が増えてよかった。良い企画なので続けてほしい」、「サークルからの告知は難しいので助かった」などの好意的な意見が多く寄せられた。																																							
課題と展望	参加者の中には、「何か始めたいけれど、ひとりでは勇気が出ない」と思う人もいる。何かを始めたいという人が安心して集える場としての役割を果たしているこの事業は、公民館活動の活性化につながる有意義な取組であることから、さらに参加人数を増やす工夫をしながら、今後も継続していきたい。																																							

粕壁地区 9

事業名 テーマ	幼児家庭教育学級		対 象	未就学児と その保護者		定員	5～20組	
ね ら い	人間形成において重要な幼児期の発育について、保護者が正しく理解し適切な育児を行っていくための学習機会及び保護者同士の交流の場とする。もって幼児期における家庭教育の充実を図る。							
協力機関 及び団体	協力 各講師の所属する団体		特 色 位置づけ	年間を通した事業	SDG s の 目 標No.	4.11		
会 場	粕壁南公民館 コミュニティホール 調理室 中央公民館 実習室		教 材 資 料 等	教材は、講師・スタッフが準備				
実施ま での 経 過	4か月前 事業内容決定、講師選定、 承諾、会場確保 3か月前 講師依頼文発送 月初 公民館だより発行、 市公式SNS等配信 1か月前 参加申込み受付開始		PR方法	公民館だより4、6、8、10、12月号 掲載 子育て情報メール配信 公民館にポスター掲示、チラシ配架 公民館の利用時に声かけ				
			受付方法	公民館窓口にて直接または、 電話で申込み				
月日(曜)	時 間	内 容		参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月31日(土)	10:30～11:30	親子でリミック&コンサート	実技	18	28	46	早乙女 弘枝 ほか4名	
7月17日(木)	10:30～11:30	みんな集まれ！KIDピクス		3	15	18	日本こどもフィットネス協会 加藤 啓子	
10月25日(土)	10:30～12:00	親子クッキング		7	10	17	春日部市食生活改善推 進協議会粕壁地区 5名	
11月29日(土)	10:00～12:00	親子クッキング 「パン屋さんのしごと体験」		1	16	17	楽ぱん 内山 麻子	
2月7日(土)	10:30～11:30	ベビーマッサージ &癒やしのコンサート		8	8	16	早乙女 弘枝 ほか4名	
								
5回	6時間30分			37	77	114		
企画運営上 の 工 夫	・家族みんなで参加できるように土曜日の開催を多く設定した。 ・事業の内容は、親子で触れ合えるように一緒に遊んだり作ったりできるものとした。 ・安心・安全情報メールを活用し多くの参加者を募った。 ・広い会場を活かした事業内容にした。							
成 果 参加者の 声 など	参加者からは「子どもがとても楽しんでいました。」「楽しい一日をありがとうございました。子育て頑張ります。」「いつもは残してしまうものも、おいしいと食べていました。」「今度、一緒に家で作ってみようと思います。子どもと一緒に体験は、とても有意義でした。」「ベビーマッサージ、子どもと楽しくできました。コンサートを聴く機会がなかったので、癒やされました。」などの声をいただいた。会場は笑顔と温かい雰囲気に包まれて大変好評であった。孤立しがちな子育て期において、心の拠り所となる場を提供できたと実感した。							
課題と展望	全体としては、穏やかで温かい雰囲気の中で事業を実施できたが、講座の内容によっては参加希望者が少ないものもあり、集客に課題が残った。要因としては、開催時期がよくなかったことや企画内容と参加者のニーズにズレがあったことが考えられる。気候がよい時期に実施すること、アンケートなどで「今、親子が求めていること」を捉え、より多くの家庭に参加していただける事業を目指す。							

事業名 テーマ	利用団体代表者会議		対象	各団体の代表者		定員	なし
ねらい	公民館利用団体及び今後利用を予定している団体を対象に施設の利用方法についての説明を行う。また部屋の利用方法について、利用者の意見を聴取する。併せて、人権DVDを視聴し、人権への意識を深める。						
協力機関 及び団体	公民館利用団体		特色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11
会場	粕壁南公民館 1階 コミュニティホール		教材 資料等	公民館利用のてびき ご意見・ご要望のまとめ			
実施までの経過	7月10日	[臨時代表者会議] 開催通知を利用団体に 配布開始	PR方法	各団体代表者あてに会議開催通知を直接配布 代表者会議開催については公民館だより12月号にも掲載			
	11月14日(金) 12月2日(火)	[代表者会議] 事業計画書作成 会議開催通知等を利用 団体に配布開始	受付方法	当日、直接参加			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男 計	女 計	合計	
8月10日(日)	10:00～11:15	「臨時代表者会議」 春日部市教育センター再整備 基本計画(案)の概要について	協議	30	50	80	職員の説明による
1月18日(日)	10:00～11:05			「代表者会議」 公民館の利用方法について協議	22	25	
2回	2時間20分			52	75	127	
企画運営上の工夫	[臨時代表者会議] 粕壁南公民館の機能移転に関して、「春日部市教育センター再整備基本計画(案)の概要」に基づき、公民館利用者に説明する機会とした。また、質疑応答の時間を設け、利用者の不安を解消できるよう努めた。 [代表者会議] 利用にあたっての当館固有の注意点等を説明し、適切な利用を促す資料を作成したほか、音楽室について、より多くの方に利用してもらうため時間制限を設けることについて利用者の意見を聴取する機会とした。併せて、利用者が集まる機会を活用し、人権について学習を行った。						
成果 参加者の声など	[臨時代表者会議] 粕壁南公民館が機能移転後の料金体系や利用できる部屋の広さや数について、サークルの発表する期会や場所の提供を求める声などの意見や要望があり、検討事項とさせていただいた。 [代表者会議] 公民館施設の使用方法について改めて周知することができた。音楽室の利用方法については利用者の意見を聴取したうえで、予約可能時間を変更することについて了解をいただいた。						
課題と展望	公民館の利用については、窓口での会話を通じて、常日頃から利用者との意見交換ができるような関係・環境づくりをすることが望ましい。併せて、利用者同士の交流を深める場ともなりうるため、公民館からの一方的な説明のみならず、公民館利用について利用者と共に考える機会として充実させたい。						

粕壁地区 11

事業名 テーマ	「かすかべ茶屋」		対 象	一般		定 員	内容に 応じ設置
ね ら い	毎回1つのテーマを決め、気軽な雰囲気の中で、講師による講義及び参加者相互の意見交換等を通して、暮らしに役立つ知識・技術を身につける機会として実施する。また、中高年者の居場所づくり事業としても位置付け、楽しく、活気ある内容を目指す。粕壁地区公民館と合同で実施。						
協力機関 及び団体	粕壁地区生涯学習市民推進員 かすかべ茶屋企画運営委員		特 色 位置づけ	各種団体との連 携		SDGs の目 標No.	4.11
会 場	粕壁市民センター(中央公民館) 粕壁南公民館		教 材 資 料 等	教材は、講師・スタッフで準備			
実施ま での経 過	4/24(木) 第1回スタッフ会議 5/29(木) 第2回スタッフ会議 6/26(木) 第3回スタッフ会議 7/31(木) 第4回スタッフ会議 8/21(木) 第5回スタッフ会議 9/18(木) 第6回スタッフ会議(中止) 10/23(木) 第7回スタッフ会議 11/20(木) 第8回スタッフ会議 12/18(木) 第9回スタッフ会議(中止) 1/22(木) 第10回スタッフ会議 2/19(木) 第11回スタッフ会議 3/19(木) 第12回スタッフ会議		PR方法	公民館だよりに掲載 ポスター掲示及びチラシ配布			
			受付方法	公民館へ直接、または電話			
月 日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計	
5月15日(木)	14:00～16:00	「足を守ろう～ケアの方法・歩き方～」	講義	5	22	27	春日部中央総合病院 リハビリテーション科 井上 大樹
6月5日(木)	14:00～16:00	「軽スポーツを楽しんでみませんか」	講義	5	10	15	スポーツウエルネス吹き矢 協会 カーレット春日部
7月3日(木)	14:00～15:30	「シニア向けスマートフォン教室・ 特殊詐欺防犯教室」	講義	4	11	15	行政デジタル改革課職員 くらしの安全課職員
8月7日(木)	14:00～15:30	「歴史講座 春日部の移り変わり」	講義	4	6	10	郷土資料館長
11月15日(土)	13:30～16:30	「春日部落語会」	講演	143	117	260	春日部落語研究会
12月4日(木)	13:30～15:30	「帽子型ブローチ作り」	実習	0	15	15	渡辺 わか江
2月14日(土)	9:30～11:30	野鳥観察会	実習	5	3	8	生態系保護協会春日部支部
3月14日(土)	14:00～16:00	高橋 朋子コンサート	講演	50	235	285	高橋 朋子
8回	16時間			216	419	635	
企画運営上 の 工 夫	・昨年度までの参加者からの要望及びスタッフからの提案のあったテーマを主に実施し、その他時事問題について関心がありそうなテーマを探し実施する。 ・粕壁地区公民館(中央公民館)及び粕壁南公民館を会場とすることで、館の特徴を生かした内容の実施を目指す。						
成 果 参加者の 声 など	・開催会場を2館に分けたことで、それぞれの館の室場に合った講座を実施できた。参加者からは個々の講座内容について「勉強になった」「もう一度開催してほしい」などの声が聞かれ、概ね好評であった。特に粕壁地区開催の「春日部落語会」及び「高橋朋子コンサート」は多数の市民の来場があり、非常に好評な企画となった。						
課題と展望	・粕壁地区生涯学習市民推進員と有志ボランティアによる企画と運営により事業を展開。闊達な意見交換がなされ、適切な日時の設定や講師折衝に至った。毎月の開催を目指す一方で、企画の調整が図れず、開催を見送った月もあり、事業回数が少なくなってしまった。次年度は早期に企画を固め、多様な講座を実施していきたい。						

事業名 テーマ	人権教育研修会		対 象	公民館利用者		定 員	なし	
ね ら い	人権問題について学習し、正しい理解と認識を深めることをねらいとする。							
協力機関 及び団体	公民館利用団体 社会教育課		特 色 位置づけ	人権教育		SDGs の目 標No	4・10・11	
会 場	粕壁南公民館 1階 コミュニティホール		教 材 資 料 等	人権啓発DVD「日常の人権Ⅱ～気づきから行動へ～」				
実施までの経過	※利用団体代表者会議を活用する。 12月中旬～1月上旬 会議開催通知配布 1月17日 視聴覚センターへDVDを 中央公民館より映写機材を借用 1月18日 事業実施		PR方法	・各団体代表者あてに会議開催通知を直接配布				
			受付方法	当日、直接参加				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男	女	合計		
				計	計			
1月18日(日)	11:15～11:45	利用団体代表者会議に出席した方を対象に人権啓発DVDを視聴してもらった	会議	22	25	47		
1回	25分			22	25	47		
企画運営上の工夫	(1)利用団体が一堂に会する機会を利用して、人権教育研修会を開催する。 (2)分かりやすい人権啓発DVDを上映し、一人でも多くの人に人権への意識を高める機会となるようにする。 (3)参加者へ人権啓発品を配布する。(社会教育課から)							
成 果 参加者の声など	「いつ自分が障がい者になるかもしれないと言うことを念頭に行動しようと思った。大人の目が偏見を作っていると思います。」、「無知や無関心が差別していることかもしれないという言葉が心に残った。また、ネット社会において、個人情報の取扱いの大切さ、重要性を改めて認識した」などの感想があり、人権を考える良い機会にすることができた。							
課題と展望	公民館利用団体を代表して参加した人同士が、一緒に同じ人権啓発映画を鑑賞し、感想を共有することで、地域社会における連帯感や、お互いを尊重し合う風土づくりの一端を担えるよう努めていく。次年度においても、代表者会議に限らず、日常的に人権を考える機会を提供したい。							

事業名 テーマ	粕南パパママひろば		対 象	未就学児とその 保護者		定 員	10組	
ね ら い	就学前の子どもを持つ保護者に交流の場を提供する。ボランティアに託児を依頼することで保護者間の仲間づくりを支援し、講座を企画することで、より子育てしやすい環境の醸成をねらう。							
協力機関 及び団体	春日部市民生委員児童委員協議会粕壁西地区		特 色 位置づけ	下記、企画運営上の工夫 参照		SDGs の目 標No	4.11	
会 場	粕壁南公民館 コミュニティホール		教 材 資 料 等	講師・スタッフが準備				
実施までの経過	4月 民生児童委員協議会へ託児相談事業の10日前に参加者人数を託児協力者へ報告 4カ月前 事業内容決定 講師選定 公民館だより8月号、10月にて市民へ告知 1カ月前 受付開始		PR方法	公民館だより8月号、10月号 子育てメール				
			受付方法	公民館窓口に直接または電話で申し込む				
月日(曜)		内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
9月26日(金)	10:00～11:00	パパママヨガ	実技	1	10	11	ヨガインストラクター 山本 由紀	
12月5日(金)	10:00～11:00	パパママアクティブタイム	実技	2	9	11	日本子どもフィットネス協会公認インストラクター 加藤 啓子	
								
2回	2時間			3	19	22		
企画運営上の工夫	・民生委員・児童委員に託児協力を依頼して、保護者には講座に集中して取組み、保護者同士が交流できる場を提供した ・参加者の希望次第で講座を企画することも予定する							
成 果 参加者の声など	参加者からは「子育てが始まってから、自分のための活動で外に出ることが初めてだったので、とてもいい時間を過ごすことができました。」「子育て中には中々出来ない、自分自身に目を向ける事が出来た事が一番うれしかったです。」「普段体を動かしたくても時間が取れなかったけれど、久しぶりに体を動かさせて楽しかったです。」「子どもを見てくださった方々にも感謝します。」などの声があり大好評であった。日頃育児に追われ、自身の健康管理や運動の時間が確保できない参加者に対し、体を動かす機会を提供できた。また、育児ストレスの軽減や精神的なリフレッシュに寄与したことが確認できた。							
課題と展望	参加者からの満足度が極めて高かった一方で、申込者数が定員に満たない状況が見られた。これは、事業の魅力や「託児付きでリフレッシュできる」というメリットが対象となる子育て世代に十分に届いていなかった可能性がある。公民館だよりなどに加えて、SNSや子育て支援センターなど、情報発信のルートやタイミングを再考する必要がある。							

粕壁地区 15

事業名 テーマ	公民館だより「桐のまち」発行		対 象	粕壁地区住民		定 員	—	
ね ら い	公民館からさまざまなイベント情報等を地域住民に伝達することにより、 公民館利用を促進し、地域における生涯学習活動を醸成する。							
協力機関 及び団体	粕壁地区公民館（中央公民館）、 粕壁南公民館の共同発行		特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・11	
会 場	—		教 材 資 料 等	—				
実施までの経過	(奇数月の) 10日まで 原稿掲載依頼受付 中旬 編集打ち合わせ 下旬 原稿作成、印刷・梱包 広報かすかべ配布予定表により配布		PR方法	—				
			受付方法	直接サークル活動の会場へ				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
偶数月（年6回）		公民館主催事業の周知 粕壁地区内 約16,400部配布						
6回								
企画運営上の工夫	掲載記事をより見やすいレイアウトや分かりやすい文章に心がけ、イメージが膨らむ写真やイラストを入れて編集した。 令和7年度途中から、広報配布日の前日に公民館だよりを配布することとし、配布を担当していただいている地域の方の負担を軽減する工夫をした。							
成果参加者の声など	主催事業のアンケートによると、公民館だよりから情報を得たという事が多いことから事業実施のうえで重要な広報手段となっている。さらに、サークルからのお知らせ情報を掲載することで、利用団体の活動を支援できた。また、公民館だよりの配布業務においては、地区内を巡回するなかで、自治会関係者や地域の方々と顔を合わせ、情報交換や交流ができるという点がもっとも大切な要素であるといえる。地域の中の公民館として、今後も、よりよい公民館だよりを作成し、より多くの地域住民のもとに届くよう努めていく。							
課題と展望	今後も一層、必要な情報を正確に伝えるためにレイアウト等を工夫し、見やすく、わかりやすい魅力ある紙面づくりに努める。							